

平成 24 年度 第 9 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 25 年 1 月 18 日（金） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 05 分

場 所：県庁 10 階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，総務課長，経営企画課長，
総合メディカルゾーン推進担当室長 ほか

病院 各県立病院長，中央病院副院長，各県立病院看護局長，
各県立病院事務局長 ほか

(1) 平成 24 年度決算見込み（11 月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 24 年度の決算見込み（11 月末現在）について示す。

(2) 物品（医薬品，診療材料）の在庫管理等について

【説明】中央病院

中央病院における医薬品及び診療材料の在庫管理方法について，新病院と旧病院の比較について説明する。また，品目数の削減や在庫期間の短縮への取組について説明する。

【質疑等】

管理者：平成 24 年 12 月現在の医薬品の採用品目数が 1,221 品目とのことだが，品目数の削減について目標は定めているのか。なければ，目標を設定して削減していくようにしてほしい。1,000 品目くらいまではもっていけると思う。また，薬事審議会等の中でもっと具体的にやっていく必要がある。

管理者：診療材料について，病院在庫の品目数と預託在庫の品目数はそれぞれいくらか。

中央病院：今は把握していない。

管理者：なぜ聞くかと言えば，場合によっては預託在庫が増えると，支払い額が増える可能性がある。預託在庫ではなく，きちんと管理できる病院在庫を増やして，品目数をコントロールできるようにすること。また，診療材料については，複数の診療科において，同じようでも若干機能が違う物を使っている場合は，一方の診療科が譲って合わせていくようにしてほしい。例えば，尿道カテーテルについてはそういった話を聞いたことがある。実際にはやってくれていると思うが，整理して行ってほしい。

【説明】三好病院

三好病院における医薬品の在庫管理について、方法や問題点について報告する。また、診療材料について、品目数の削減、値下げ交渉及び在庫期間短縮の取組について説明する。

管理者：契約品目と登録品目はどこがどう違うのか。

三好病院：契約品目と登録品目は同じものである。登録品目はすべて単価契約していて、預託や貸出しも入っている。

管理者：価格交渉を行った上で契約しているか。

三好病院：はい。

【説明】海部病院

海部病院における医薬品及び診療材料の在庫管理方法について説明する。また、医薬品の在庫管理における問題点とその対策等について説明する。

【質疑等】

管理者：廃棄医薬品について、廃棄の対象となる品目は調べれば特定できるのではないか。

海部病院：特定の患者が退院すれば使用しなくなるので、分かると思う。

管理者：特定の患者は入院と外来の両方にいるのか。また、例えば、入院期間が10日ならば、その10日分の使用量が分かるのではないか。

海部病院：箱単位での購入の場合だと余ってしまう。

中央病院：抗がん剤や麻薬など使っている人が亡くなって余る場合もある。

管理者：医薬品を期限内に使い切るためには、県立3病院内だけでなく、その他市中の病院との連携も検討しても良いのでは。

中央病院：そもそも3病院がそれぞれで管理することがどうかというのもある。海部病院だけでなく、中央病院でも三好病院でも不良在庫は出てくる。SPDの業者が医薬品を購入し、管理するというシステムに変えれば、廃棄医薬品も大分減ると思う。3病院それぞれで持つのか、それとも、どこかに持ってもらうシステムを作るのか検討しないといけないと思う。

管理者：中央病院は隣の徳島大学病院との連携で何とかなるかもしれないが、システムを含め、全員で協力してやっていかなければならない課題である。最終的に、廃棄医薬品の問題は経費がアップするだけでなく、品物のロスにもなるので考えていかないといけない。

(3) その他

- ・ 診療材料の交渉状況について

【説明】 病院局経営企画課 経営戦略担当

診療材料の価格交渉について、現在の状況や今後の方針等を説明する。

【質疑等】

中央病院：情報システムのネットワークを推進していかなければいけないので、これからの県立3病院の情報ネットワークの在り方等について考える必要がある。今は補助金が付いていることもあり、病院局だけで結論を出しても良いのかということもあるが、情報システムについては収益の約2～3%固定費としてかかっているので、病院局としてどうしていくかという方針を考えるワーキンググループなどを作る必要があると思う。検討してほしい。